

2022年1月30日

主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒154番（旧193番）

『罪も咎も汚れもなき』

聖書⇒詩編121:3~6節（MM姉）

『どうか、主があなたを助けて／足がよろめかないようにし／まどろむことなく見守ってくださるように。
見よ、イスラエルを見守る方は／まどろむことなく、眠ることもない。
主はあなたを見守る方／あなたを覆う陰、あなたの右にいます方。
昼、太陽はあなたを撃つことがなく／夜、月もあなたを撃つことがない。
主がすべての災いを遠ざけて／あなたを見守り／あなたの魂を見守ってくださるように。
あなたの出で立つのも帰るのも／主が見守ってくださるように。今も、そしてとこしえに。』

礼拝讃美歌⇒313番（旧84番）

『主を頼る者は』

聖書⇒エフェソの信徒への手紙6:10~12節（SK兄）

『最後に言う。主に依り頼み、その偉大な力によって強くなりなさい。悪魔の策略に対抗して立つことができるように、神の武具を身に着けなさい。わたしたちの戦いは、血肉を相手にするものではなく、支配と権威、暗闇の世界の支配者、天にいる悪の諸霊を相手にするものなのです。』

礼拝讃美歌⇒116番（旧40番）（KH兄）

『カルバリの丘』

《パン裂き》

聖書⇒マルコによる福音書14:22~26節（KH兄）

『一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱えて、それを裂き、弟子たちに与えて言われた。「取りなさい。これはわたしの体である。」また、杯を取り、感謝の祈りを唱えて、彼らにお渡しになった。彼らは皆その杯から飲んだ。そして、イエスは言われた。「これは、多くの人のために流されるわたしの血、契約の血である。はっきり言うておく。神の国で新たに飲むその日まで、ぶどうの実から作ったものを飲むことはもう決してあるまい。」一同は賛美の歌をうたってから、オリーブ山へ出かけた。』

礼拝讃美歌⇒148番（旧 94 番曲）

『主の御旨により』

《建徳》

聖書⇒詩編 90:1~12 節（KH 兄）

『【祈り。神の人モーセの詩。】主よ、あなたは代々にわたしたちの宿るところ。

山々が生まれる前から／大地が、人の世が、生み出される前から／世々としえに、あなたは神。

あなたは人を塵に返し／「人の子よ、帰れ」と仰せになります。

千年といえども御目には／昨日が今日へと移る夜の一時にすぎません。

あなたは眠りの中に人を漂わせ／朝が来れば、人は草のように移ろいます。

朝が来れば花を咲かせ、やがて移ろい／夕べにはしおれ、枯れて行きます。

あなたの怒りにわたしたちは絶え入り／あなたの憤りに恐れます。

あなたはわたしたちの罪を御前に／隠れた罪を御顔の光の中に置かれます。

わたしたちの生涯は御怒りに消え去り／人生はため息のように消えうせます。

人生の年月は七十年程のものです。健やかな人が八十年を数えても／得るところは労苦と災いにすぎません。

瞬く間に時は過ぎ、わたしたちは飛び去ります。

御怒りの力を誰が知りえましょうか。あなたを畏れ敬うにつれて／あなたの憤りをも知ることでしょう。

生涯の日を正しく数えるように教えてください。知恵ある心を得ることができますように。』

礼拝讃美歌 116 番 3 節の歌詞

『聖き魂の 痛み悶えに

わが罪深き 思い悟りぬ

贖いの代 大いなる見れば

わが落ちぶれの 程ぞ知らるる』

聖書⇒箴言 19:21 節（SK 兄）

『人の心には多くの計らいがある。主の御旨のみが実現する。』

口語訳

『人の心には多くの計画がある、／しかしただ主の、み旨だけが堅く立つ。』

聖書⇒創世記 12:1~3 節

『主はアブラムに言われた。「あなたは生まれ故郷／父の家を離れて／わたしが示す地に行きなさい。わたしはあなたを大いなる国民にし／あなたを祝福し、あなたの名を高める／祝福の源となるように。あなたを祝福する人をわたしは祝福し／あなたを呪う者をわたしは呪う。地上の氏族はすべて／あなたによって祝福に入る。』』

聖書⇒創世記 13:10~11a 節

『ロトが目を上げて眺めると、ヨルダン川流域の低地一帯は、主がソドムとゴモラを滅ぼす前であったので、ツォアルに至るまで、主の園のように、エジプトの国のように、見渡すかぎりよく潤っていた。ロトはヨルダン川流域の低地一帯を選んで、東へ移って行った。』

聖書⇒創世記 13:12 節

『ソドムの住民は邪悪で、主に対して多くの罪を犯していた。』

聖書⇒創世記 19:4~8 節

『彼らがまだ床に就かないうちに、ソドムの町の男たちが、若者も年寄りもこぞって押しかけ、家を取り囲んで、わめきたてた。「今夜、お前のところへ来た連中はどこにいる。ここへ連れて来い。なぶりものにしてやるから。」ロトは、戸口の前にたむろしている男たちのところへ出て行き、後ろの戸を閉めて、言った。「どうか、皆さん、乱暴なことはしないでください。実は、わたしにはまだ嫁がせていない娘が二人おります。皆さんにその娘たちを差し出しますから、好きなようにしてください。ただ、あの方々には何もしないでください。この家の屋根の下に身を寄せていただいたのですから。』

礼拝讃美歌⇒220 番（聖歌 431 番）

『イエス君の名は喜び力』

《建徳要旨》

①

②